



## みんなでいじめ問題を考えよう

本たよりNo.54(11/29発)でも紹介しました『徳島県児童生徒6万5千人のいじめ防止一斉学習2024』を、12/17(火)1校時に全学年で実施しました。冒頭、「県内でのいじめ防止の活動、警察からのメッセージ、いじめゆるさんけん」の動画を視聴後、各学級での最近のいじめアンケート結果や、生活の現状をふまえた授業を行いました。



↑【1年】 ↓【4年】



↑【2年】 ↓【5年】



↑【3年】 ↓【6年】



- 1年、『友だちとなかよくなれる「ことば」をふやそう』のめあてで、生活で耳にすることばから、教室に増やしたいことばを出し合い、みんなで確認しました。
- 2年、『ことばのもつ力について考えよう』のめあてで、先日の持久走大会で自分が発したことばにどのような力があつたか、相手がどのように受け取るか考えました。
- 3年、『さかなクンが伝えたかったことは』の問いで、絵本「さかなのなみだ」から、どうしていじめが起きるのか、自分はこれからどうしていくかを話し合いました。
- 4年、資料「わたしのせいじゃない」から、友だちのつらさは本当に私のせいじゃないのか、そして、見て見ぬふりより声を出す行動力の大切さを話し合いました。
- 5年、webサツ；Changersから「いじりといじめのちがい」について、日々の生活で、楽しいから、自分はそうは思っていないからと気付きにくい境界を話し合いました。
- 6年、『どんな心があれば、いじめを起こさないだろう』の問いで、資料「わたしのせいじゃない」をもとに、自分事とするために必要なのは何かを意見交換しました。

授業後の休み時間、一人の児童が職員室に来室し、「先生、○さんがたたいてきたり、いやなことを言ってきます」と訴えました。「さっきの授業で、これからはやさしくしますとみんなの前で言っていたね。私も聞いているので、やさしくできるように励ましていきます」と答えました。

今日の授業をゴールにするのではなく、児童の成長にともなう支援として取り組んでいきます。